デザインマンホールの視認率調査
第二回報告

－デザインマンホールの PR 効果研究－

九州産業大学地域共創学部地域づくり学科　佐藤研究室

報告書のご利用について

本報告書は、大学における学生教育を主たる目的に作成されたものです。そのためデータの信頼性をはじめ、実務上の要求に十分応えられる水準にあるとは限らないことをご理解ください。

また実施した調査をはじめ、本報告書の内容の多くは学生自身が試行錯誤した成果です。もちろん教員が学生を指導していますが、指導不足により何らかの誤りが存在する可能性があります。なおその点について学生に非は無く、その責は指導教員にあります。何卒ご寛恕いただければ幸いです。

本報告書はこのような性質のものですが、デザインマンホールの視認率に関し、管見の限り調査した事例は見当たりませんでした。そのため未熟なものながら、本報告書のアイデアやデータにも一定の意義があると考え、ご高覧に供するものです。

何卒上述の内容を良くご理解のうえ、本報告書をご利用くださいますようお願い申し上げます。

九州産業大学地域共創学部地域づくり学科

講師　佐藤忠文

第 2 報発行に寄せて

デザインマンホールの視認率調査第 2 報をお届けします。昨年の第 1 回調査は福岡県北九州市の 2 ヶ所を対象としました。今回は佐賀県佐賀市の 2 ヶ所で、2022 年 8 月に 1 泊 2 日で実施しました。夏の暑さに加え、ゲリラ豪雨と戦う調査になりました。

昨年から今年にかけてデザインマンホールは増加を続けているようです。新たな展開も見られ、本調査の必要性はさらに増しているものと考えられます。その点について詳しくは、第 1 回報告に書いた「趣旨」をご覧ください。本報告書にも再掲しています。

ところで調査に参加した学生たちは、本年 11 月に開催される「第 10 回マンホールサミット in 所沢」に招聘され、調査内容をもとに講演する予定です。指導教員としてはハラハラしていますが、きっと期待に応えてくれるものと信じています。

2022 年 10 月 3 日

九州産業大学地域共創学部地域づくり学科

講師　佐藤忠文

1. 調査概要

2. 方法

3. 結果

4. 調査班

5. 当日の様子

6. お問い合わせ先

１．　調査概要

(1) 趣旨

デザインマンホール（蓋）は、下水道事業の PR（広報活動）を主な目的に設置が進められてきました。近年、アニメのキャラクターを描いた蓋が登場するなど、観光や市街地の賑わいづくりといった地域振興に対する期待の高まりから、全国で設置が加速しています。

しかしこのようなブームと言える状況がある一方で、地域振興や下水道事業に対する PR 効果は、これまで十分には明らかにされていません。

社会課題である下水道インフラの維持には、老朽化するマンホール蓋の交換が必要です。災害対策のため高機能化も要請されていますが、必要な対応が進んでいるとは言い難い面があります。解決には、費用負担をはじめ、下水道事業に対する市民の理解が必要です。そのためデザインマンホールには、市民生活で意識され難い下水道の関心を高める効果が期待されてきませんでした。

他方、デザインマンホールの登場は、路上観察などで生まれたマンホール蓋に対する文化的関心を拡げ、マンホーラーと呼ばれるファンとそのコミュニティを生み出すことに成功しました。そこでは実用性と異なる視点でマンホール蓋の価値を認め、時に老朽化した蓋の保護が求められる場合もあります。デザインマンホールへの期待は、彼らマンホーラーの存在に支えられてきた部分が大きいと言えますが、今や一部のファンのみを対象とするにとどまらない社会現象になりつつあります。

以上のように現在のマンホール蓋は、下水道の存在を示す「シンボル」から、人々の関心や興味を媒介する「メディア」に変化してきたと考えられます。

これは地域振興や下水道事業に対する PR 効果を考える際に、マンホール蓋に対するメディア的な理解が必要になったことを示しています。PR 効果を、取り組み事例の話題性といった視点から考えるばかりでなく、マンホール蓋のメディアとしての特徴を明らかにし、一般市民に対するより広範な影響を検討する段階にあると考えられます。

そのうえで我々は、マンホール蓋をメディアとして考える場合の基礎的なデータがないことに着目しました。そこで手始めに、デザインマンホールの視認率を中心とした調査を試みました。本調査は大学生による試行的なものですが、今後取り組みが広がり、より効果的な PR 活動に資することを願っています。

(2) 目的

デザインマンホールの PR 効果を明らかにするために、基礎的データの収集を目的としたデザインマンホールの視認率調査と、訪問動機や下水道事業への認知状況を理解するために街頭でのアンケート調査を実施した。

(3) 調査地点

調査対象とするデザインマンホールとして、ポケモン[1]の絵が描かれたマンホール蓋「ポケふた」と「ゾンビランド佐賀」のキャラクターデザインのマンホール蓋を選定した。

1 か所目　：　ARKS 広場　1 枚　佐賀県佐賀市松原 1 丁目 1－1
2 か所目　：　656 広場　1 枚　　佐賀県佐賀市呉服元町 2－25

(4) 調査実施日

2022 年 8 月 6 日（土曜日）[2]
2022 年 8 月 7 日（日曜日）[3]

2．　方法

(1) 構成

二つの調査地点に対して、各調査員 3～4 名により以下に述べる視認率調査及びインタビュー調査を実施した。

調査は、調査実施日の表 1 の時間帯に実施した。なおアンケート調査は、デザインマンホールをカメラ（スマートフォン含む）で撮影する動作が確認された場合に、積極的にデザインマンホールを注目していると判断してアンケート調査を実施した。詳しくは後述する。

---

[1] ポケモンは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。
[2] 当日は佐賀城下栄の国祭りが 2 日間行われ、調査対象地域は賑わっていた。また当日は新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言等は解除されており、イベント開催に制限のない状況であった。
[3] 同上

表 1　調査時間帯

	ARKS 広場[4]		656 広場	
	視認率	アンケート	視認率	アンケート
11 : 00 ～ 12 : 00	－	－	○	○
12 : 00 ～ 13 : 00	－	－	○	○
13 : 00 ～ 14 : 00	○	○	－	－
14 : 00 ～ 15 : 00	－	－	○	○
15 : 00 ～ 16 : 00	○	○	○	○
16 : 00 ～ 17 : 00	－	－	○	○
17 : 00 ～ 18 : 00	○	○	－	－

○：調査実施

(2) 視認率調査

デザインマンホールを視認している人及び通行人の数を調査員が数取り機を用いて調査した。

① カウント方法

デザインマンホールを囲むように一定の区画を設定し、区画内に入った人数をカウントした。赤い線で囲まれたところを区画内とし、ピンのある場所が対象となるマンホール蓋の位置である。(写真 1 及び 2)

区画の範囲は、おおよそ縦 9m、横 6m と設定した。

[4] ARKS 広場実施時ゲリラ豪雨に見舞われたため、当初の予定から調査実施の時間帯を変更しています。そのため 656 広場と実施時間帯が異なります。

ARKS 広場	656 広場
写真 1	写真 2

② カウント基準

路上を歩行中にデザインマンホールを視認したことを明確に確認できるとして、以下の基準に合致した場合にカウントした。

- 立ち止まって見る
- 振り返って見る
- 指さして見る
- その他（スマホを見ながらちらっと見たような場合など、見たか見ていないか微妙な判断は当日の調査者で話し合って決めた。）

(3) アンケート調査

デザインマンホールを視認した人のうち、積極的にマンホールに注目したと判断できる人を抽出して街頭でアンケート調査を実施した。

① 判断基準

カメラ（スマートフォン含む）で撮影する動作が確認された場合とした。

② 調査手順

1. １時間分の調査票の「担当、age、時帯、F/M」にマークしたのち、1 時間分をバインダーに挟んで、通し番号を 調査票の右上に大きく記入し、アンケートを開始する。
2. 「おはようございます」と元気な挨拶から始める。
3. 身分を名乗る。
4. 短時間で済むことを前もって言う。（3 分ほど）

5. 聞き易い声で、調査票を読み上げて答えてもらう。
6. 自分で書きたそうにしている人には、ペンを差し上げて書いてもらう。
7. 書いてもらう間は、ちょっと距離を置いて、終わったころに近づいて回収する。
8. 空白がある場合は、「こちらもご記入していただいてよろしいですか」と促す。最後の記述のところはできるだけ書いてもらう。

③ 設問内容

問１　「マンホール蓋の写真を撮られた理由をお教えください。」

問２　「本日は、どこから来られましたか。」

問３　「ここに特殊なマンホール蓋（通称：デザインマンホール蓋）があることを知っていましたか。」

問４　「「知っている」と答えたあなたの最初に知ったきっかけを教えてください。」

問５　「本日の目的を教えてください」

問６　「今回のご旅行などに関する費用についてそれぞれの項目でお答えください。」

問７　「「デザインマンホール蓋の役割」について、あなたはどのような事をご存じですか。ご存知なことをすべて教えてください。
また、知らなかった役割があればお知らせください。」

問８　「続けて「下水道の役割」について、あなたはどのような事をご存じですか。ご存知なことをすべて教えてください。
また、知らなかった役割があればお知らせください。」

問９　「現在多くのデザインマンホールが全国で設置されています。あなたは、マンホールのどのようなところに魅力を感じますか？」

問 10　「あなたは「マンホールカード」について知っていますか。」

問 11　「(知っている方のみ) なぜマンホールカードを集めようと思いましたか？」

問 12　「最後に、あなたのことをお知らせください。」

3．　結果

(1) 視認率調査

表 2　視認率（ARKS 広場）

ARKS 広場			
時間	区画に入った人数	マンホール蓋を見た人	マンホール蓋を見た人 / 区画に入った人(%)
13 : 00～ 14 : 00	60	17	28.3
15 : 00～ 16 : 00	129	19	14.7
17 : 00～ 18 : 00	271	48	17.7
集計	460	84	18.3

表 3　視認率（656 広場）

656 広場			
時間	区画に入った人数	マンホール蓋を見た人	マンホール蓋を見た人 / 区画に入った人(%)
11 : 00~ 12 : 00	62	4	6.5
12 : 00~ 13 : 00	97	6	6.2
14 : 00~ 15 : 00	116	18	15.5
15 : 00~ 16 : 00	112	9	8.0
16 : 00~ 17 : 00	208	26	12.5
集計	595	63	10.6

※カメラで撮影をした場合を注目率として集計した。

表 4　注目率（ARKS 広場）

ARKS 広場			
時間	マンホール蓋を見た人	写真を撮った人	%
13 : 00~ 14 : 00	17	8	47.1
15 : 00~ 16 : 00	19	6	31.6
17 : 00~ 18 : 00	48	13	27.1
集計	84	27	32.1

表 5　注目率（656 広場）

656 広場			
時間	マンホール蓋を見た人	写真を撮った人	%
11 : 00~ 12 : 00	4	2	50.0
12 : 00~ 13 : 00	6	2	33.3
14 : 00~ 15 : 00	18	3	16.7
15 : 00~ 16 : 00	9	2	22.2
16 : 00~ 17 : 00	26	3	11.5
集計	63	12	19.0

(2) アンケート調査

表 6　性別

No.	カテゴリー	実数	%
1	男性	14	53.8
2	女性	12	46.2
	合計	26	100

表 7　時間帯

No.	カテゴリー	実数	%
1	１０時台	0	0
2	１１時台	1	3.8
3	１２時台	1	3.8
4	１３時台	4	15.4
5	１４時台	1	3.8
6	１５時台	8	30.8
7	１６時台	1	3.8
8	１７時台	10	38.5
	合計	26	100

問１　マンホール蓋の写真を撮られた理由を教えてください。（複数回答）

表 8

No.	カテゴリー	実数	%
1	コレクション	5	19.2
2	SNS への投稿	5	19.2
3	珍しい・面白いと思ったから	8	30.8
4	キャラクターが好きだから	16	61.5
5	友人・家族・知人に見せる	2	7.7
6	特にない	0	0
7	その他	0	0
	合計	36	
	人数	26	

問２　本日はどこから来られましたか。（単数回答）

表 9

No.	カテゴリー	実数	%
1	佐賀市内	14	53.8
2	佐賀県	2	7.7
3	九州	6	23.1
4	その他	4	15.4
	合計	26	100

問３　ここに特殊なマンホール蓋があることを知っていましたか。（単数回答）

表 10

No.	カテゴリー	実数	%
1	知っていた	26	100
2	知らなかった	0	0
	合計	26	100

問４　「知っていた」と答えたあなたの最初に知ったきっかけを教えてください。

（複数回答）

表 11

No.	カテゴリー	実数	%
1	テレビ	13	81.3
2	雑誌	3	18.8
3	新聞	1	6.3
4	ラジオ	0	0
5	SNS	4	25
6	観光案内サイト	3	18.8
7	キャラクターのホームページ	7	43.8
8	インターネット広告	0	0
9	ニュースアプリ	2	12.5
10	家族・友人・知人	4	25
11	市役所ホームページ	0	0
12	その他	2	12.5
	合計	39	
	人数	16	

問５ 本日の目的を教えてください（複数回答）

表 12

No.	カテゴリー	実数	%
1	観光	12	46.2
2	買い物	4	15.4
3	飲食（店内イートイン）	4	15.4
4	仕事	1	3.8
5	イベント	11	42.3
6	散歩・休憩	6	23.1
7	マンホール蓋	13	50
8	その他	5	19.2
	合計	56	
	人数	26	

本日の目的を教えてください（第一の目的）（単数回答）

表 13

No.	カテゴリー	実数	%
1	観光	8	30.8
2	買い物	0	0
3	飲食（店内イートイン）	0	0
4	仕事	1	3.8
5	イベント	10	38.5
6	散歩・休憩	1	3.8
7	マンホール蓋	3	11.5
8	その他	3	11.5
	合計	26	100

本日の目的を教えてください（第二の目的）（単数回答）

表 14

No.	カテゴリー	実数	%
1	観光	1	5.6
2	買い物	1	5.6
3	飲食（店内イートイン）	1	5.6
4	仕事	0	0
5	イベント	1	5.6
6	散歩・休憩	4	22.2
7	マンホール蓋	10	55.6
8	その他	0	0
	合計	18	100

問６　今回のご旅行などに関する費用についてそれぞれの項目でお答えください。

表 15　交通費

No.	カテゴリー	実数	%
1	0 円	4	25.0
2	1 円～5,000 円未満	5	31.3
3	5,000 円～10,000 円未満	1	6.3
4	10,000～15,000 円未満	2	12.5
5	15,000～20,000 円未満	1	6.3
6	20,000 円以上	2	12.5
7	分からない	1	6.3
	合計	16	100.0

表 16　宿泊費（市内）

No.	カテゴリー	実数	%
1	0 円	2	100
2	1 円～5,000 円未満	0	0
3	5,000 円～10,000 円未満	0	0
4	10,000～15,000 円未満	0	0
5	15,000～20,000 円未満	0	0
6	20,000 円以上	0	0
7	分からない	0	0
	合計	2	100

表 17　宿泊費（市外）

No.	カテゴリー	実数	%
1	0 円	1	50
2	1 円～5,000 円未満	1	50
3	5,000 円～10,000 円未満	0	0
4	10,000～15,000 円未満	0	0
5	15,000～20,000 円未満	0	0
6	20,000 円以上	0	0
7	分からない	0	0
	合計	2	100

表 18　飲食費・買い物代

No.	カテゴリー	実数	%
1	0 円	5	35.7
2	1 円～5,000 円未満	5	35.7
3	5,000 円～10,000 円未満	2	14.3
4	10,000～15,000 円未満	0	0.0
5	15,000～20,000 円未満	0	0.0
6	20,000 円以上	2	14.3
7	分からない	0	0.0
	合計	14	100.0

表 19　利用料・入場料

No.	カテゴリー	実数	%
1	0 円	7	53.8
2	1 円～5,000 円未満	3	23.1
3	5,000 円～10,000 円未満	0	0
4	10,000～15,000 円未満	0	0
5	15,000～20,000 円未満	0	0
6	20,000 円以上	2	15.4
7	分からない	1	7.7
	合計	13	100.0

問７　「デザインマンホール蓋の役割」についてあなたはどのような事をご存じですか。ご存じのことをすべて教えてください。また知らなかった役割があれば教えてください。（複数回答）

表 20　知っていた役割

No.	カテゴリー	実数	%
1	下水道事業に関心を促す	7	26.9
2	地域の活性化	21	80.8
3	企業の広告媒体	6	23.1
4	観光地やスポーツイベント会場への案内表示	5	19.2
5	その他	0	0
	合計	39	
	人数	26	

表 21　知らなかった役割

No.	カテゴリー	実数	%
1	下水道事業に関心を促す	13	50
2	地域の活性化	4	15.4
3	企業の広告媒体	10	38.5
4	観光地やスポーツイベント会場への案内表示	13	50
5	その他	2	7.7
	合計	42	
	人数	26	

問８　続けて「下水道の役割」について、あなたはどのような事をご存じですか。ご存じのことをすべて教えてください。また、知らなかった役割があればお知らせください。
（複数回答）

表 22　知っていた役割

No.	カテゴリー	実数	%
1	街を清潔にする	18	69.2
2	街から雨水を排除する	17	65.4
3	公衆衛生の向上	15	57.7
4	河川、海等の水質保全	10	38.5
5	エネルギー・資源を作る	2	7.7
6	その他	0	0
	合計	62	
	人数	26	

表 23　知らなかった役割

No.	カテゴリー	実数	%
1	街を清潔にする	3	11.5
2	街から雨水を排除する	0	0
3	公衆衛生の向上	4	15.4
4	河川、海等の水質保全	7	26.9
5	エネルギー・資源を作る	13	50
6	その他	0	0
	合計	27	
	人数	26	

問９　現在多くのデザインマンホールが全国で設置されています。あなたは、マンホールのどのようなところに魅力を感じますか？

表 24

市町村によって異なるデザインがあるところ
地域の特色や、キャラクターが現実に入ってくるところに魅力を感じる
簡単にみられる
かわいいところ
その土地にしか無い
地域により違うので面白い
色々なデザインがあって面白い
誰でも目にすることができるところ
ポケモンデザイン
ご当地マンホールがかわいい
旅の目的
各観光地と関係があるデザイン
その土地にあったキャラクターがいること
あっても邪魔にならない
キャラクター
推しのマンホール
推しのマンホールと芸能人
推しです
ロケ地をめぐるモチベーションの一つ

問 10　あなたは「マンホールカード」について知っていますか。

表 25

No.	カテゴリー	実数	%
1	知っている	4	15.4
2	名前だけは知っている	6	23.1
3	知らない	16	61.5
	合計	26	100

問 11　なぜマンホールカードを集めようと思いましたか？

表 26

No.	カテゴリー	実数	%
1	コレクション	1	33
2	珍しいと思ったから	0	0
3	下水道事業に興味を持ったから	0	0
4	その他	2	67
	合計	3	100

問 12　最後に、あなたのことをお知らせください。

表 27

No.	カテゴリー	実数	%
1	フルタイム	18	69.2
2	パートタイム	1	3.8
3	フリーランス	1	3.8
4	主婦・主夫	2	7.7
5	リタイア・自由業	0	0
6	学生	4	15.4
7	その他	0	0
	合計	26	100

４．　調査班

九州産業大学地域共創学部地域づくり学科４年生
卒業研究ゼミナール（佐藤研究室）

森　卓命
山下　雅信
久徳　駿斗
木村　元継

（マンホール調査を始めたきっかけ）

私たちは日々生活している中で気にしているようで気にしていないマンホールを取り上げ、メディアとの関連を考えながら研究を始めました。現在マンホールはデザインマンホールの普及などにより全国各地でブームが起きています。しかし私たちはブーム以前にマンホールの役割である下水道を守ることは周知されているのかが気になりました。そこでマンホールが観光業に寄与しているかはもちろんのこと、本来の下水道事業ＰＲにどこまで効果があるかを調査することにしました。

５．　当日の様子

（ARKS 広場）

（656 広場）

６．　お問い合わせ先

九州産業大学地域共創学部地域づくり学科
講師　佐藤　忠文

〒813-8503　福岡市東区松香台２丁目３番１号
TEL　092-673-5276（研究室直通）
FAX　092-673-5276
E-Mail　t.sato@ip.kyusan-u.ac.jp